

北薩支部情報

5月29日、阿久根市市民会館において支部総会を開催し、申し合わせにより役員が次のとおり交代しました。また、平成23年度事業報告、決算が承認され、平成24年度事業計画、予算を可決しました。

<支部役員>

役職	担当市町	備考
支部長（協会理事）	薩摩川内市	平成24、25年度
副支部長	長島町	
監事	さつま町	

<平成24年度事業計画>

時期	事業名	備考
平成24年7月14日 ～8月31日	「子どもといっしょに読書の日」ポスター巡回	長島町 阿久根市 出水市 さつま町 薩摩川内市
平成25年1月 ～2月	北薩支部職員研修	内容は支部事務局に一任

また、支部総会の中で各市町の情報交換を行いました。その概要は次のとおりです。

市町名	各図書館の状況 情報交換で話された内容を事務局（薩摩川内市）で編集したものです。
阿久根市	平成17年から指定管理に移行、指定管理者：NPO法人“ぶれでお”（図書館で働いていた嘱託員等で組織）、施設が古く狭いが小学校が隣接しており、小学生が放課後によく利用する。2階が児童コーナーで2部屋に仕切られ、学習用の机椅子が多くて子どもにとっては利用しやすいようだ。
長島町	2町合併で、旧町ごとに二つの小さな図書館があり、子供たちがほとんどであるが、よく利用されている。司書の配置はそれぞれ1名ずつで、1人体制では開館サービス以外の企画や事業の実施が困難なところが悩みである。交付金事業の導入で新しい本はたくさんある。
さつま町	3町の合併なので、条例設置ではない三つの図書室がある。旧薩摩町役場跡に「こども図書館」がオープンし、平成22年度1年間で3千人の来館者が、オープン後半年で6千人を超えた。子どもの健康相談と連携して読書推進を図っている。また、「さつま読書のすすめ」として推薦図書を紹介する冊子を作成しており、スタンプラリーや読書感想文・感想画コンクールも実施している。
出水市	昨年4月から図書館は指定管理者制度を導入。それと同時に、教育委員会には「読書推進課」が設置され、読書活動の推進を図っている。昨年度は第二次の「出水市読書推進活動計画」を策定した。「読書活動日本一のまちづくり」を目指して、「自治会文庫」の設置、「地域子ども会読書の集い」の出前読み聞かせ会、「出水市推薦図書」の選定、読書活動ホームページの開設など多くの施策を企画、実施されている。また、図書館では、絵本原画展や釧路・東京の図書館と所蔵作品の交換展示などを実施している。
薩摩川内市	昨年度は、介護支援、就職支援など四つの課題対応型図書コーナーとパソコン・情報、伝記など三つの図書コーナーを設置し、関係機関と連携して利用促進を図った。今年度は、「おでかけ図書館」等のお話し会事業や「お話し実践講座」、「図書館教養講座」、図書の請求記号（背ラベル）の4ケタ化等を実施する。